

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実			
事業名	ごみ箱設置支援事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	清掃総務費
	細目	1	清掃総務費	細々目	1	清掃総務費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)			自治事務			予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
大量生産・大量消費・大量廃棄という経済社会システムの中で、資源やエネルギーを限りなく浪費し、便利さや快適さを過度に求めてきた生活も、今や大きな転換期を迎え、市民の意識も省資源・省エネルギーへと変わっている。地球環境保全の視点から、環境・資源問題を考えながら、現在の生活を見直し、身近なところから環境への負荷の少ない生活様式(エコ・ライフ)を普及し、省資源・リサイクル型の快適で文化的なライフスタイルを構築する必要がある。	ごみ収納箱等を購入し、又は製造・修繕した自治会に対して補助金を交付することにより、街の美観や環境衛生保全の立場から生ごみ等を衛生的に集積する環境を整える。	ごみ収納箱等を購入し又は製造・修繕した自治会に対して補助金を交付する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
①設置数		①設置数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	107 %
45個	48個	45個	48個	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	900,000	829,757	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		900,000	829,757	
合計		900,000	829,757	合計		900,000	829,757
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,186,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
ごみ収納箱等を購入・製造または修繕した自治会に対して補助金を交付しているが、金額に上限がある。		維持管理を含め、環境美化活動への苦情・相談等については、速やかに対応する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実
事業名	一般廃棄物処理施設管理事業					
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費
	目	1	塵芥処理費	細々目	1	塵芥処理費
事務区分(根拠法令)	自治事務		(廃棄物処理法)		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
市内で発生するごみの収集・運搬及び処理・処分は廃棄物処理法により市の固有業務となっている。市では直営及び委託により収集・運搬し、焼却施設、最終処分場等で処理・処分を行っている。	市内で発生するごみを適正に収集・運搬及び処理・処分し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	ごみを計画的に収集するため、ごみカレンダーを作成するとともに、人員、車両等の体制整備を行う。適正な処理・処分を行うため、施設の適切な維持補修や運転管理を行う。可燃ごみは焼却、資源ごみは売却、焼却灰はセメント原料化、不燃物は埋立等の処理・処分を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
処理・処分率		処理・処分率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
18,299t	18,299t	18,299t	18,299t	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	94,880	94,880	財(源内合訳)	国庫支出金		
	需用費	86,373,130	78,844,042		県支出金		
	役務費	1,991,000	1,795,037		地方債	4,700,000	4,700,000
	委託料	149,566,350	143,926,928		その他	117,030,000	123,317,293
	その他	8,920,640	8,560,290		一般財源	125,216,000	105,203,884
合計	246,946,000	233,221,177	合計	246,946,000	233,221,177		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	4,151,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
焼却施設の老朽化が著しく、維持補修や運転管理が困難になっている。車両の老朽化が進みトラブルが発生する。災害ごみを埋立処分したため、最終処分場の残余容量が減少した。	新ごみ処理施設建設を進める。車両の計画的更新を行う。焼却灰のセメント原料化により最終処分場の延命化を図る。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実			
事業名	可燃物処理施設整備事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
	細目	1	塵芥処理費	細々目	5	環境衛生センター整備事業費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	経常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
環境衛生センターは昭和57年度に稼働をした。平成8・9年度に基幹改修をした。老朽化が進み、機能維持のための改修工事が必要となっている。	環境衛生センターの機能を維持し、市内で発生する可燃ごみの安定的で安全な処理を行う。	精密機能検査の結果に基づき、必要な改修を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
改修工事の実施状況		予算執行額		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
100(%)	100(%)	170,935,950円	170,928,250円	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	23,400	23,400	財源(割内訳)	国庫支出金		
	使用料及び賃借料	17,550	17,350		県支出金		
	工事請負費	170,895,000	170,887,500		地方債		
					その他		
			一般財源		(100%)	170,935,950	170,928,250
合計		170,935,950	170,928,250	合計		170,935,950	170,928,250
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.2	7,116,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
平成26年度末で処理を終了するため、大規模な改修が困難になっている。	平成24年度に必要最小限の措置をし、平成25・26年度は軽微な維持補修に留める。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実			
事業名	焼却灰セメント原料化関連事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
	細目	1	塵芥処理費	細々目	5	環境衛生センター整備事業	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	臨時

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
焼却灰は埋立処分をしていたが、平成14年度に山口県が策定した「山口エコタウン基本構想」の中核プロジェクトの一つである「ごみ焼却灰セメント原料化」が事業化されたため、本市も参画した。	焼却灰をセメント原料化することにより、リサイクルの推進及び最終処分場の延命化に取り組む。	山口エコテックはごみ焼却灰をセメント原料化するため有害物質を除去処理する事業所である。焼却灰は、業者委託により山口エコテックまで搬送している。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
焼却灰のセメント原料化量		原料化率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	93 %
2,300t	2,149t	100(%)	93(%)	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	315,000		財源(割内訳)	国庫支出金		
	役務費	36,000			県支出金		
	委託料	82,452,000	78,194,527		地方債		
	公課費	111,000			その他		
合計	82,914,000	78,194,527	一般財源		(100%)	82,914,000	78,194,527
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計	82,914,000	78,194,527	
		0.7	4,151,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実			
事業名	新ごみ処理施設整備事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
	細目	1	塵芥処理費	細々目	5	環境衛生センター整備事業	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続	臨時		

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成21年度に環境衛生センターの精密機能検査を行った。この検査の総合所見で「施設の更新が望ましいと考えられる」とされたため、施設の建替えを行うこととなった。	循環型社会形成推進地域計画に基づき、また国の循環型社会形成交付金及び合併特例債を活用し、平成27年度稼働を目標に、新ごみ処理施設を建設する。	○平成21年度 地域計画策定・承認 ○平成22-24年度 計画支援事業、各種手続き ○平成24-26年度 建設工事		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
設定困難		予算執行額		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	4 %
		423,227,050円	16,512,050円	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	6,171,000	6,171,000	財(源割内訳)	国庫支出金	353,314,000	367,000
	工事請負費	10,341,050	10,341,050		県支出金		
					地方債	8,500,000	8,500,000
					その他		
合計	16,512,050	16,512,050	一般財源	61,413,050	7,645,050		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計	423,227,050	16,512,050	
		2.4	14,232,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

### 4 ACTION

課題	改善策
非常にタイトなスケジュールとなっている。	進捗管理の徹底を図る。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	次年度繰越額 406,715,000円
-----	---------------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	2	し尿処理体制の充実			
事業名	山陽地区一般廃棄物(し尿等)処理事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費
	細目	1	山陽浄化センターし尿処理費	細々目	1	山陽浄化センターし尿処理費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	臨時

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬及び処理・処分は廃棄物処理法により市の固有業務となっている。市では許可により収集・運搬し、し尿処理場で処理・処分を行っている。	山陽地区で発生するし尿及び浄化槽汚泥を適正に収集・運搬及び処理・処分し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	許可業者が収集・運搬したし尿及び浄化槽汚泥を山陽浄化センターでいったん受け入れ、貯留し、小野田浄化センターへ搬送する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
し尿及び浄化槽汚泥の小野田浄化センターへの搬送量		搬送率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
13,884m <sup>3</sup>	13,884m <sup>3</sup>	100(%)	100(%)	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	3,689,035	2,959,790	財(源割内訳)	国庫支出金		
	役務費	100,000	94,036		県支出金		
	委託料	27,937,356	27,814,043		地方債		
	工事請負費	1,806,007	1,806,007		その他		
	その他	559,602	559,602		一般財源	(100%)	34,092,000
合計		34,092,000	33,233,478	合計		34,092,000	33,233,478
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	2,965,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
施設の老朽化が著しく、維持管理が困難になっている。	平成23年度末から処理を小野田浄化センターで行い、受槽、貯留槽、脱臭装置の維持及び改修を行う。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	2	し尿処理体制の充実			
事業名	小野田浄化センターし尿処理事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費
	細目	2	小野田浄化センターし尿処理費	細々目	1	小野田浄化センターし尿処理費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	臨時

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬及び処理・処分は廃棄物処理法により市の固有業務となっている。市では許可により収集・運搬し、し尿処理場で処理・処分を行っている。	市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥を適正に収集・運搬及び処理・処分し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	許可業者が収集・運搬したし尿及び浄化槽汚泥を小野田浄化センターで処理・処分する。処理水は海域に放流し、汚泥は脱水・焼却し、埋立処分する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
し尿及び浄化槽汚泥の処理量		処理率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
35,988m <sup>3</sup>	35,988m <sup>3</sup>	100(%)	100(%)	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	51,200	51,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
	需用費	75,439,300	72,871,590		県支出金		
	役務費	119,000	103,474		地方債		
	委託料	50,066,000	47,119,022		その他		
	その他	352,500	293,450		一般財源	(100%)	126,028,000
合計	126,028,000	120,438,536	合計		126,028,000	120,438,536	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.8	4,744,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
平成23年度末から山陽地区のし尿及び浄化槽汚泥を受け入れており、処理の調整が必要となる。	受入態勢の改善するとともに、基幹改修を計画的に実施する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	2	し尿処理体制の充実			
事業名	小野田浄化センター基幹整備事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費
	細目	2	小野田浄化センターし尿処理費	細々目	1	小野田浄化センターし尿処理費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)						予算種別	継続	臨時	

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成20年度からし尿処理場を統合するため基幹改修を始めた。	小野田浄化センターは平成元年度に移働した。今日まで大規模な改修は行っていないが、経年劣化以外は特に問題はない。このため、平成26年度まで施設の基本的な構造を維持しつつ、機能改善を行う。	精密機能検査の結果に基づき、設備の改良、交換等を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
設定困難		予算執行率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	60 %
		103,420,000円	62,447,494円	

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	委託料	1,361,050	787,500	財(源)割内訳	国庫支出金			
	工事請負費	58,069,000	58,069,000		県支出金			
	補償、補填及び賠償金	4,000,000	3,590,994		地方債	(95%)	98,200,000	59,300,000
					その他			
			一般財源		(5%)	5,220,000	3,147,494	
合計		63,430,050	62,447,494	合計		103,420,000	62,447,494	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.7	4,151,000					

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

## 4 ACTION

課題	改善策
処理工程を優先的に実施してきたため、その他の箇所の整備が遅れている。	処理工程の工事が概ね完了するため、その他工事について計画的に実施する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	次年度繰越額 39,989,950円
-----	--------------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	3	産業廃棄物処理対策の促進			
事業名	有帆緑地処分場管理事業								
予算費目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費
	細目	4	有帆緑地管理費	細々目	1	有帆緑地管理費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公共事業の廃棄物処理問題を解決するために建設した「有帆緑地処分場」を適正に管理し、施設周辺に迷惑をかけないようにする必要がある。	公共事業の最終処分場が確保される。また、沿線住民への環境悪化を防止できる。	廃棄物が受け入れ基準に適合しているか等を監視するとともに搬入量を管理する。また、施設の適正な維持管理を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
年間搬入量(建設残土等)		水質基準不適合件数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
44,000トン	50,565トン	0件	0件	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	457,000	375,061	財源(割内訳)	国庫支出金		
	役務費	12,000	11,292		県支出金		
	委託料	210,000	210,000		地方債		
	機械借上料	1,353,000	1,352,256		その他		
					一般財源	2,032,000	1,948,609
合計		2,032,000	1,948,609	合計		2,032,000	1,948,609
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2.45	5,490,900				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
搬入状況に応じて、土堰堤の嵩上げ工事等が必要となっている。	必要に応じて工事費を確保する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	4	斎場・霊園の整備			
事業名	埋火葬関連事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	4	斎場管理運営経費	細々目	1	斎場管理運営経費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
火葬業務は市の固有の事務であり、長期的に安定的な処理が求められている。 市内には、山陽斎場及び小野田斎場の2箇所の火葬場があり、いずれも指定管理者による運営等が行われている。 いずれの斎場も老朽化が著しく、統合・建替えなど更新が必要である。	適切な火葬業務等を実施することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。	指定管理者に両斎場の火葬業務を実施させる。 墓地、埋葬等に関する法律に基づき、埋・火葬の許可業務を行う。 新火葬場の建設に係る基本方針等を決定する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
斎場施設等に係る苦情報告件数		老朽化した斎場の管理運営費		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
1件以内	0件	32,906千円	32,639千円	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	指定管理料	24,990,000	24,990,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
	修繕料	2,710,800	2,710,800		県支出金		
	管理運営委経費	5,205,240	4,937,814		地方債		
					その他		
			一般財源		32,906,040	32,638,614	
合計		32,906,040	32,638,614	合計	32,906,040	32,638,614	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	2,965,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
・民間ノウハウの導入やコスト削減を目標に、指定管理者制度を導入しているが、施設の維持及び住民サービスの向上のいずれも現状を維持していくことが、最重要課題である。 ・特に突発的な事例に対する柔軟な対応が要求される。(技術及び財政面)	施設については、定期的な保守点検により修繕必要箇所の把握及び優先順位の位置づけを行ってはいらぬものの突然の故障などが起きている状況である。 ・不具合の出る前に修繕なり交換を行えるよう予算確保をする必要がある。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	4	斎場・霊園の整備			
事業名	霊園管理整備事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	4	斎場管理運営経費	細々目	1	斎場管理運営経費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
墓地については、自治体、宗教法人、公益法人のみに経営許可が与えられているので、民間参入が進まず恒常的に不足している。また、市営墓地については、除草作業などの予算に限りがあり、管理が行き届いていない状況である。	墓地経営等の適正な管理を行い、もって公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。	①市営墓地の適正な管理(除草など) ②新たな墓地区画の整備 ③市営墓地使用料及び管理料徴収事務 ④墓理法に基づく申請・許可業務	
活動指標		成果指標	
霊園内の草刈等整備費		市営墓地の適正な管理墓地(4力所の墓地数)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
600千円	570千円	4,777基	4,777基
成果指標の到達度(B/A)			
100 %			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	霊園整備委託料	600,000	570,150	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		600,000	570,150	
合計		600,000	570,150	合計		600,000	570,150
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1	5,930,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
・3,200区画を超える小野田霊園の広大な敷地の維持管理。 ・職員だけの立木伐採や草刈りに限界がある。	・委託により、年間を通じて、公衆衛生(草木の伐採、ゴミ収集)を中心に維持管理が行えるように努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要 市営墓地の適正な維持管理のため、年間を通じた業務委託を検討
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	4	斎場・霊園の整備			
事業名	霊園整備事業(臨時分)								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	3	霊園関連経費	細々目	2	小野田霊園整備事業費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	新規	臨時		

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
小野田霊園については、待機利用者が70人を超えるなど利用者への基礎的なサービスが低下していることから、墓地の効率的な利用が見込まれる4区から6区において、105区画分のスペースを増設する。	墓地区画の効率的な利用を図り、待機利用者に墓地を提供することで、基礎的な市民サービスの向上を図る。	4区から6区にある利用されていない植栽部(9カ所)について造成を行い、105区画の墓地増設工事を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
墓地区画の新設数		墓地区画の新設数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
105区画	105区画	105区画	105区画	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	938,700	928,200	財(源割内訳)	国庫支出金		
	工事請負費	7,061,300	5,919,000		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		8,000,000	6,847,200	
合計	8,000,000	6,847,200	合計	8,000,000	6,847,200		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進
事業名	アダプトプログラム事業					
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費
	目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
本事業は、自分たちのまちは自分たちできれいにしようという理念の下、市民と市とが協働で行う美化・緑化活動である。現在は、ボランティア活動者の高齢化により、活動を辞退する団体が増えている。	人の生活と密接な関係にある公園、道路、河川等の公共施設の美化、保全等のためのボランティア活動を支援することにより、環境美化に対する市民意識の高揚を図る。	実践者の活動に対し、次に掲げる事項を行うものとする。 ①物品の支給(ごみ袋、清掃用具等) ②実践者名を記した表示板の設置 ③収集されたごみの処理 ④公園等の美化、保全等のための活動に関して、実践者を被保険者とする保険の加入手続き	
活動指標		成果指標	
一年間のPR回数		一年間の活動団体増加数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
最低2回	1回	2団体	1団体
成果指標の到達度(B/A)			
50%			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	保険料	75,600	75,600	財(源割内訳)	国庫支出金		
	需用費	110,000	76,280		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		185,600	151,880	
合計		185,600	151,880	合計		185,600	151,880
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,186,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
・ボランティア活動者の高齢化により活動を辞退する団体が出てきている。 ・場所によっては清掃活動をしなくてもすぐにポイ捨て等が行われることがあるので、そもそもポイ捨てが行われないような対策をとる必要がある。	・ホームページ・イベント等で活動状況をPRすることにより、市民に環境美化に対する意識を高めていく。 ・ポイ捨て等が頻繁に行われる場所については、ポイ捨て看板の設置やパトロールの強化等を行っていく。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他
-----

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進			
事業名	狂犬病予防、犬・猫保護等関連事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	經常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順		
狂犬病は人間にも感染し、死亡率が非常に高い病気で、蔓延を予防するために狂犬病予防法が制定され、犬には年1回の予防接種が義務付けられている。しかし、現状は接種率が下降ぎみである。		狂犬病の蔓延を予防し、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。		狂犬病予防法第4条の登録事務。狂犬病予防法第5条の注射済票の交付。野犬対策、犬・猫の収容及び運搬。動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、動物の愛護と適正な飼養に関し、普及啓発を図るための広報活動等。犬又は猫の取り引き、その他動物愛護及び管理に対する県の業務等への協力。		
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
狂犬病予防集合注射の実施			予防注射実数			
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)
7日		7日		4,097件		2,594件
						63
						%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	88,000	84,950	財(源割内合訳)	国庫支出金		
	県動物保護管理協会負担金	47,000	47,000		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		135,000	131,950	
合計		135,000	131,950	合計		135,000	131,950
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.4	2,372,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題		改善策	
・狂犬病の発生、まん延、撲滅をすることにより、生活衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。 ・飼犬が死亡した際に、飼い主からの死亡届が提出されないことが多く、実際の犬の数と登録数に差がある。		・犬の未登録(注射未実施)を減らし、犬の登録原簿の管理に努める。 ・飼い主に犬の登録や抹消などの届出を忘れないよう更なる周知徹底を図ることが必要。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進			
事業名	生活衛生向上事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
	細目	10	保健衛生総務費(環境課)	細々目	1	保健衛生一般管理費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続	経常		

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公衆衛生の向上を図るため、山陽地区の天満町と渡場の2箇所に公衆便所を設置している。また、公共的な場所で発生したそ族昆虫の駆除を実施している。	公衆便所の清掃を定期的実施して公衆衛生の向上を図る。災害発生時には消毒などを行い、感染症の発生を防止する。	①そ族昆虫の駆除及び情報の提供。 ②消毒作業。 ③公衆便所の管理。 ④その他公衆衛生の向上のための啓発		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
公衆便所の清掃回数、そ族昆虫駆除回数		公衆便所清掃作業にかかる苦情件数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
5回以上/月	5回/月	0件	0件	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	物件費	245,000	244,800	財源(割内訳)	国庫支出金		
	需用費	50,000	32,282		県支出金		
	役務費	36,100	36,100		地方債		
					その他		
			一般財源		331,100	313,182	
合計		331,100	313,182	合計		331,100	313,182
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
高齢化による維持管理人の雇用確保が心配。	地域の方々とのコミュニケーションを図り、雇用の確保に努める
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進			
事業名	放置自動車処理事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公共の敷地内にある放置自動車の撤去及び処分に関わる法律の適正な運用を図るが、放置自動車は個人の所有物なので個人のモラルの向上が必要となっている。	放置自動車を撤去することにより、公共の場所の美観及び機能を保持し、もって市民の快適な生活環境を確保する。	公共施設に放置された自動車を適正な方法で除去するための処理を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
公共の場における放置自動車把握のためのパトロール		放置自動車の廃棄処理件数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
1回/6ヶ月程度	1回/6ヶ月程度	0件	0件	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	人件費	5,000		財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		5,000		
合計		5,000	0	合計		5,000	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
・市内公共場所における放置自動車の把握については、市民からの通報によるものが中心となるが、パトロールも実施。	・公共施設をかかえる担当課は、定期的な巡回が必要

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進			
事業名	環境美化向上事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順				
昨今の環境保全の意識の向上により、ごみの減量化や堆肥化といった事業が進んでいるが、個人の意識に頼るものが多いため、意識の向上が必要となっている。		市民に対して環境美化に関する啓発を行い、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。		環境衛生推進団体に対する補助。環境衛生に対する苦情の処理や情報の提供。その他環境美化の向上のために行う業務。				
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)			
不法投棄のパトロール回数、海岸清掃実施回数			搬出ゴミ処理量					
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		100 %
年間2回以上実施		2回/年間		2tダンプ1台		3.5tダンプ2台		

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	143,000	14,803	財(源割内訳)	国庫支出金		
	補助費	468,000	468,000		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		611,000	482,803	
合計		611,000	482,803	合計		611,000	482,803
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.55	3,261,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策			
・単位自治会と直結している環境衛生推進協議会には、引き続き協力体制をお願いすべきである。		・現在行っているが、各地区への環境美化に対する看板等の設置をさらに増やし、意識向上に努めなければならない。			
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)			
A	計画どおり事業を進めることが適当		A	計画どおり事業を進めることが適当	
その他					